

国語科学習指導案

呉市立昭和西小学校
指導者 中塩 曜子

1 日 時 平成22年 7月9日(金) 第2校時

2 学 年 第6学年1組 計38名

3 単元名 優れた叙述について自分の考えをまとめる ～作者の技を学ぼう！～
主教材：「ヒロシマのうた」今西祐行（東京書籍6年上）
副教材：「夏のわすれもの」福田岩雄（東京書籍4年上）

4 単元について

- 本単元は、小学校学習指導要領国語(平成20年)における第5学年及び第6学年「C 読むこと」の指導事項エ「登場人物の相互関係や心情、場面についての描写をとらえ、優れた叙述について自分の考えをまとめること。」を受け設定したものである。本単元では、文章の内容を理解させるだけでなく、メッセージや題材を強く意識させる表現や内容に気付き評価させることをねらいとする。

主教材「ヒロシマのうた」は、「辛いことを乗り越え前向きに強く生きていこうとする姿」を題材とする作品である。作品の後半には、登場人物の前向きに強く生きていこうとする姿が題材を強く意識させる出来事を通して表現されている。また、最後の一文は、登場人物の心情が情景描写によって表現されている。副教材「夏のわすれもの」も、「辛いことを乗り越え前向きに強く生きていこうとする姿」を題材とする作品である。最後の場面には、主人公の強い意志が心内語によって表現されている。この二つの教材文は、同じ題材についてそれぞれ特徴のある出来事や言葉、描写によって表現されている作品である。

以上のことから、二つの教材文は、本単元のねらいを達成するために適したものであると考える。

- 本学年の児童は、文学的な文章を読むことの学習において、物語の展開に即して場面に分けること、あらすじをとらえること、登場人物の心情をとらえることなどの指導によって、書かれている内容を正しくとらえる力はある程度付いている。しかし、題材を強く意識させる表現や内容について考えさせる指導が不十分であったため、優れた叙述について自分の考えをまとめる力は十分でない。

- 指導に当たっては、メッセージや題材を強く意識させる表現や内容に気付かせ評価させるため、教科書に取り上げられた作品とメッセージや題材が関連した作品を比べて読む学習を取り入れる。

本単元では、「ヒロシマのうた」と比べて読む作品として「夏のわすれもの」を取り上げる。比べて読む観点として、メッセージや題材を強く意識させる表現や内容について、「どこがどう違うかどう似ているか」「自分が納得できるのはどちらか」の二つの観点を提示する。

この学習を通して、「ヒロシマのうた」のメッセージや題材（辛いことを乗り越え前向きに強く生きていこうとする姿）を強く意識させる表現や内容、具体的には場面や言葉、描写等について児童に考えを深めさせることができると考える。

5 単元の目標

- 題材を強く意識させる表現や内容に着目して読もうとする。 [関心・意欲・態度]
- 題材を強く意識させる表現や内容について自分の考えをまとめることができる。 [読むことエ]
- 語感や言葉の使い方を意識して文章を読むことができる。 [言語事項ウ(エ)]

6 単元の評価規準

国語への関心・意欲・態度	読む能力	言語についての知識・理解・技能
題材を強く意識させる表現や内容に着目して読もうとしている。	題材を強く意識させる表現や内容について評価している。	語感や言葉の使い方を意識しながら読んでいる。

7 指導計画（全6時間）

次	時間	学 習 内 容	評 価				
			関心 態度	読む 能力	言語	評価規準	評価方法
1	1	○ 「ヒロシマのうた」の題名から考えたことを話し合う。 ○ 自分の作文に生かせる作者の技を学ぶことを知る。		◎	○	・ 「ヒロシマのうた」の題名から考えたことをまとめている。 [読む] ・ 新出漢字を正しく書いたり、語句の意味を調べたりしている。 [言語]	ワークシート 発言
2	2	○ 「ヒロシマのうた」の全文を通読した後、作品を通じて作者が伝えたかったメッセージや題材を話し合う。		◎		・ 作品を通じて作者が伝えたかったメッセージや題材を考えている。 [読む]	ワークシート 発言
	3	○ 「ヒロシマのうた」を通じて作者が伝えたかったメッセージや題材を強く意識させる場面や言葉、描写等について考える。	○	◎		・ メッセージや題材を強く意識させる表現や内容に着目している。 [関・意・態] ・ メッセージや題材を強く意識させる場面や言葉、描写等について考えたことをまとめている。 [読む]	ワークシート 発言
	4	○ 「夏のわすれもの」の全文を通読した後、作品を通じて作者が伝えたかったメッセージや題材を話し合う。	○	◎		・ メッセージや題材を強く意識させる表現や内容に着目している。 [関・意・態] ・ 作品を通じて作者が伝えたかったメッセージや題材を考えている。 [読む]	ワークシート 発言
	5	○ 「夏のわすれもの」を通じて作者が伝えたかったメッセージや題材を強く意識させる場面や言葉、描写等について考える。	○	◎		・ メッセージや題材を強く意識させる表現や内容に着目している。 [関・意・態] ・ メッセージや題材を強く意識させる場面や言葉、描写等について考えたことをまとめている。 [読む]	ワークシート 発言
3	6	○ 「ヒロシマのうた」を「夏のわすれもの」と比べて読むことにより、「ヒロシマのうた」を通じて作者が伝えたかったメッセージや題材を強く意識させる場面や言葉、描写等について考えを深める。 ○ 自分の作文に生かせる作者の技について振り返る。		◎		・ メッセージや題材を強く意識させる場面や言葉、描写等について考えたことをまとめている。 [読む]	ワークシート 発言

		(本時)				
--	--	------	--	--	--	--

8 本時の展開 (第三次 第6時)

本時の目標 ― ・「ヒロシマのうた」を「夏のわすれもの」と比べて読むことにより、「ヒロシマのうた」のメッセージや題材を強く意識させる出来事や言葉、描写等について考え評価することができる。		
学習活動	指導上の留意点	評価規準(評価方法)
1 本時のめあてを知る。		
「ヒロシマのうた」を読んで、題材を強く意識させる出来事、言葉、描写について考えよう。		
2 音読する。 ○ p.69 l.8～p.73 l.14を音読する。	・ 題材を強く意識させる出来事や言葉、描写に着目して読むよう指示する。	
3 メッセージや題材を強く意識させる出来事や言葉、描写について考える。	・ 「夏のわすれもの」と比べて読ませることによって、メッセージや題材を強く意識させる出来事、言葉、描写に気付くことができるようにする。	
【予想される児童の反応】 ・ ヒロ子ちゃんがワイシャツを作ったこと。 (ワイシャツを作った渡すということは、ヒロ子ちゃんが勉強している洋裁で、これから自立して前向きに生きようとする気持ちが伝えられるから。) ・ 汽車はするどい汽笛を鳴らして、上りにかかっていました。 (するどい汽笛は、大きく強い音をイメージさせ、それはヒロ子の強い意志を表していて、強く生きるという意志を伝えられるから。) (上りにかかるとは、つらいことに立ち向かっていこうとする強さを表し、ヒロ子のつらいことを乗り越え前向きに強く生きようとする意志を伝えられるから。) (上りにかかることは、前向きに生きようとする気持ちを伝えられるから。)		
4 題材を強く意識させる出来事や言葉、描写について交流し深める。	・ 自分の考えに自信を持たせるためにペアトークを取り入れる。 ・ 自分の考えと友達のことを関連付けながら発表させるように指示する。	
5 本時のまとめをする。	・ 交流したことを基に、メッセージや題材を強く意識させる出来事や言葉、描写について考えをまとめてワークシートに書くよう指示する。	「ヒロシマのうた」のメッセージや題材を強く意識させる出来事、言葉、描写の効果について自分の考えをまとめている。 【読むことエ】(ワ

